



【MM EPd療法(3コース目以降)について】
(エムプリシティ+ポマリスト+デキサメタゾン)



様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28																												1日目
デカドロン錠(28mg/body)	ステロイドです	3~24時間前に内服	[Pill icon]																												[Pill icon]
アセトアミノフェン錠 ニボラジン錠	副作用を抑える薬です	30~90分前に内服	[Pill icon]																												[Pill icon]
デキサート注(8mg/body)	ステロイドです	15分	[Injection icon]																												[Injection icon]
生理食塩液	生理食塩液です	45分	[Injection icon]																												[Injection icon]
エムプリシティ注(20mg/kg)	抗がん剤です	3~6時間	[Injection icon]																												[Injection icon]
デカドロン錠(40mg/body)	ステロイドです	1日1回 内服	[Pill icon]																												[Pill icon]
ポマリストカプセル (4mg/body)	抗がん剤です	1日1回 内服	[Pill icon]																												[Pill icon]

😊 **治療による副作用**

:注意が必要な時期

		1日目 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28																												1日目
自覚症状	アレルギー様症状	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんま疹、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせください。																												
	食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																												
	不眠	寝つきが悪くなる時があります。症状があるときはお知らせください。																												
	胃部不快感	胃の痛みやゲップ、むかつき、腹部膨満感、食欲がないなど、気になる症状があるときはお知らせください。																												
	便秘	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																												
	下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出るときはお知らせ下さい。																												
検査値	白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心に行いましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

●心臓・血管への影響(高血圧、胸の圧迫感、足のむくみ) ●皮疹(皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。)

●咳・息切れ・息苦しさ

※実際の投与スケジュールと異なる場合があります。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

本資料は参考としてお使いください
国家公務員共済組合連合会
大手前病院